

平成29年度 第1回 九州工業大学 経営協議会 議事次第

日 時 平成29年6月20日（火） 13:00～15:00
場 所 百周年中村記念館 特別会議室

開 会

- 議長挨拶
- 欠席者等の案内
- 平成28年度第6回議事要旨の確認

〔審議事項〕

- (1) 平成28事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について

- (2) 平成28年度決算について

- (3) 経営協議会から選出する学長選考会議委員について

〔報告事項〕

- (1) 第2期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果について

〔その他〕

- (1) 平成30年度予算にかかる概算要求について

- (2) 部局の今後の戦略について

- (3) 平成29年度経営協議会の開催日程について

議長謝辞

閉 会

国立大学法人九州工業大学経営協議会議事要旨（平成29年度第1回）

1. 日 時 平成29年6月20日（火）13:00～15:15
2. 場 所 戸畑キャンパス 百周年中村記念館 特別会議室
3. 出席者 麻生委員，池上委員，井上委員，小笠原委員，高原委員，松岡委員
（五十音順）
学長，理事（教育・学生担当），理事（研究・産学連携担当），
理事（企画・財務・評価担当），理事（総務・労務担当），
工学研究院長，情報工学研究院長，生命体工学研究科長
4. 列席者 羽野監事，林田監事，副学長（入試・広報担当），副学長（情報担当），
学長特別補佐（男女共同参画担当），教養教育院長

5. 議長挨拶

議長から，開会にあたり挨拶があり，引き続き，新たに就任された池上委員の紹介がなされた。

6. 会議成立

構成員18名のところ，14名の出席により定足数を満たしていることが確認された。

7. 議事録の確認

平成28年度第6回経営協議会（平成29年3月16日）の議事要旨の確認について説明があり，了承された。

8. 審議事項

（1）平成28事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について

理事（企画・財務・評価担当）から，平成28事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について説明があり，審議の結果，原案どおり了承された。

なお，文科省へ提出するに当たって，文言の見直し等，若干の修正については学長に一任することです承された。

（2）平成28年度決算について

理事（企画・財務・評価担当）から，決算に伴う貸借対照表及び損益計算書等の概要について説明があり，審議の結果，原案どおり了承され，役員会に付議することとした。

（3）経営協議会から選出する学長選考会議委員について

総務課長から，学長選考会議規程及び構成員の申し合わせに基づき，経営協議会委員から委員を選出することについて説明があり，審議の結果，了承された。

①申し合わせ第1条第1号

9. 報告事項

(1) 第2期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果について

理事（企画・財務・評価担当）から、第2期中期目標に係る業務の実績に関する評価結果について報告があり、次のとおり意見があった。

（○：学外委員，△：学内委員）

- ： レベルの高い目標を設定し、取り組んでいくと高評価が得られるのではないか。
- ： 結果に対して改善するアイデアを持っているのか。
- △： 英語教育の取組について指摘があり、その部分は既に対応している。また、文章がうまく表現できていなかったところもあったため、それを改善するとともに目標に向かってしっかり取り組んで参りたい。
- ： 評価結果を受けて、大学としてどう思うか。
- △： 本学が取り組んできたことをきちんと評価されている印象である。より良い評価を得るために、引き続き取り組んで行きたい。
- △： 評価以上の実力を有しているところもあるので、今後は正確に文科省へ伝えることができるよう注意を払っていきたい。

10. その他

(1) 平成30年度予算に係る概算要求について

理事（企画・財務・評価担当）から、平成30年度概算要求に係る文科省の考え方が示された旨報告があり、それを受けた本学における概算要求について、7月を目途にメール審議をさせていただき旨説明があった。

(2) 部局の今後の戦略について

3部局長から、全学の方針を踏まえた各部局の今後の戦略について、資料に基づき説明があった。

（○：学外委員，△：学内委員）

- ： 各部局ともビジョンが明快で素晴らしい。
- ： 研究分野を限定して集中的に資源を投入することや海外との共同研究で成果を挙げられていることが、第2期中期目標期間の評価において高評価を得た要因かと思われるので、これを継続して頑張りたい。
- ： 今後18歳人口が減少していく中で、大学運営はますます厳しくなっていくことから、3年後、5年後の見通しをしっかりと持つことが重要である。
- ： 海外経験のない者は海外経験者に比べ、自分の考えで「話す」スキルが低い。より多くの学生に海外経験を積ませ、優れた人材を輩出できるよう教育を行って欲しい。
また、学生が社会に出ることをスタートと考えずに就職をゴールと捉えてしまっていないか。学生に対し、就職後自らに働きのよって給与をいただいていることを意識した教育についても併せて取り組んで欲しい。

- ： 文科省の評価だけを意識せず、のびのび大学運営をやって欲しい。社会からの要請に答えるとともに、大学の独自性を追求してほしい。
- ： 部局戦略を推進するには各部長のリーダーシップが保証されていないといけない。また、論文数が減少する等、法人化以降大学のパワーが下降していないか。
- △： 法人化以降10年以上経過したところであるが、当初から運営費交付金が1割減額されている。これに伴い、教員数も減り、論文の減少も見受けられるが、幸いにも第3期中期目標期間においては、運営費を安定して確保できる見込みである。委員からいただいた提言を踏まえ、より良い大学となるよう取り組んで行く。
- ： 工学は実学であり、実学だからこそ、産業界と密接に連携することが重要であり、ひいてはそれが国力になっていく。組織として、太い連携を実現してほしい。
5年後の目標に具体的な数値目標を掲げ、更なる高みを目指して頑張してほしい。

(3) 平成29年度経営協議会の開催日程について

総務課長から、平成29年度の経営協議会の開催日程について説明があった。